

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2025 **5**
令和7年5月12日発行
No.128

やまのべ 議会だより

2025年5月号 VOL.128

てまえ
お点前頂戴いたします



定例会	本年度の主な重点事業は	2～3
予算特別委員会	限られた予算を有効活用	4～5
議案審議・臨時会	より良いまちづくりを目指して	6～7
一般質問	町政のここはどうする?	8～11
議会活動報告	新しい町への挑戦	12～13
お知らせ・イベント情報		12～13

写真/ソプロチミスト・早春チャリティ茶会 & バザー (関連記事 14ページ)

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会
Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112

山辺町議会
ホームページは
こちら



あなたの声をお聞かせください

「山辺町食生活改善推進協議会」の皆さんからひとことメッセージ

なんといっても健康元気で
長生きが一番です

野菜不足がわかるベジタブルチェッカーが
あるといいな



和室に座椅子があると足が
痛い人も来やすいかな

健康寿命を延ばすには
食生活が大事ですね

興味のある方
一緒に活動しませんか

栄養教室はおいしくて
勉強になりますよ

— 私たちは皆さんの活動を応援しています —
皆さまからいただいたご意見を町政へ反映していきます

表紙の説明



国際ソロプチミスト山辺の、早春チャリティ茶会&バザーが3月23日、山辺町中央公民館で開催されました。茶会では、山辺高校の生徒も手伝いに来ており、会員により点てられたお抹茶をくばる姿も、おいしいお茶と和菓子に舌鼓を打つた皆さんの人々で常にいっぱいでした。会場では会員より持ち寄られたバザーのための品々や、福祉施設によるハンドメイドの商品などがところせましと並べられていました。次から次へとお客様が入場し、袋いっぱい買い物をしてくださいました。

茶会とバザーが一緒の開催は初めてだそうです、収益金は社会福祉に役立てられるようです。

編集後記

通勤通学の足を悩ませた雪もあつという間に消え、色とりどりの花が咲き誇る入学の季節を、そして緑豊かな風薫る5月を迎えました。

一方、全国各地で大きな山林火災が発生しています。わが町でも昭和62年に山林火災がありました。山林の消失は、山間部だけでなく平野部にも災害をもたらす恐れがあります。キャンプなどに出かける際には、火の元に気を付けながら楽しんでください。

今回から、表紙・裏表紙がフルカラーとなる色鮮やかな議会だよりでお届けします。ホームページで議会だよりをご覧いただくと、全ての写真をカラーでご覧いただけます。明るく楽しく読みやすい紙面づくりを心掛けていきますので、今後ともよろしくお願いたします。

■発行責任者 神保 裕一
■広報常任委員長 竹山 幸一
委員 遠藤 真由美
委員 渡邊 真由美
委員 佐藤 裕二
委員 鈴木 誠也

竹俣 朋記

議会だよりがカラー写真で閲覧できます。





106億7487万円 ふるさと応援寄附金の 増大を目指し有効活用を図る

令和7年度予算総額

限られた財源を効率的に配分し、さらなる発展に努める

住み慣れたやまのべで、自分らしく安心してすごせるまちづくりを目指して

今年度の主な重点事業

まちの「美力」アップのさらなる推進に

- ・シティプロモーション動画の制作に…………… 198万円
- ・マスメディアへの情報発信に…………… 534万円
- ・大相撲山辺場所（委託料など）に…………… 1525万円
- ・シティプロモーションウオークラリーに（まちを巡り魅力にふれあう企画）…………… 132万円
- ・町民プールの改修に向けて（実施設計業務委託）…………… 2500万円
- ・地域おこし協力隊への支援に…………… 436万円



親子でまわる町の魅力スポット

子どもたちの豊かな生活と環境づくりに

- ・保育料負担の軽減に…………… 4608万円
（保育料無償化に向けた段階的負担軽減、第3子保育料の補助など）
- ・町立学校のDX化機器購入に（電子黒板などの導入）…………… 2224万円
- ・小中学校の給食費無償化に…………… 6560万円
- ・高校生までの保険診療の医療費助成に…………… 7451万円



この町で子育てしたい

安全・安心なまちづくりに

- ・災害用車両（排水ポンプ車）の購入に… 6732万円
- ・防災備蓄品などの整備に…………… 808万円
（避難所用エアコンの設置など）
- ・蓮台寺山地排水路土砂流入防止堤設置に… 266万円
- ・公開型GISシステム構築などに…………… 3259万円



排水ポンプ車（イメージ）
出展元：山形河川国道事務所

こだわりの「ものづくり」への支援に

- ・やまのべ創業スタートアップ支援に…………… 200万円
- ・工業振興に（やまのべ高品質なものづくり応援など）…………… 425万円

定例会のあらまし
第1回定例会が2月28日から3月13日の14日間の会期で開催され、議案審議や令和7年度予算関係を審議しました。また一般質問では6人の議員が質問を行いました。定例会初日に、町長より令和7年度一般会計、3つの特別会計並びに2つの公営企業会計の基本的な方針とその概要が説明され、ただちに予算特別委員会に付託しました。最終日に予算特別委員長より審議内容が報告され、全会一致で可決しました。

予算特別委員長報告

- 世界的なインフレやエネルギー価格の上昇などの物価高騰の中、町民一人ひとりの生活の安心を支えるために、8つの意見を付しました。
1. 旧大寺小学校、旧作谷沢小中学校を含め、町遊休施設の柔軟な活用に努めること。
 2. シティプロモーション事業は、多くの町民の参加賛同を得ながら、地域コミュニティ活動醸成にも寄与する展開に努めること。
 3. 太陽光発電設備の再生エネルギー効果を検証し、適正な運用に努めること。
 4. GIGAスクール構想に基づく学校教育活動のICT化推進のため、機器環境整備の充実と学習研究に、なお一層努めること。
 5. デマンドバスは、アプリ活用による簡単な予約・配車システムを検討し、効率的な運行実現のため、さらなるサービス向上と利用拡大に努めること。
 6. 保育料無償化の事業推進に向け、財源・保育施設、人材の確保を図り、持続可能な制度を構築して子育て支援の充実に努めること。
 7. やまのべ創業スタートアップ支援や商工業振興補助金を活用し、町内産業振興を図るよう、支援に努めること。
 8. GIS防災アプリの運用と災害対応車両の配備で、一層安心して災害に強いまちづくりが実現できるように努めること。

令和7年度会計別予算明細

会計名		令和7年度予算額	令和6年度予算額	前年度比 (%)
一般会計		69億7934万円	63億2682万円	110.3
特別会計	国民健康保険	13億8685万円	13億9563万円	99.4
	介護保険	16億1166万円	16億3082万円	98.8
	後期高齢者医療	2億1284万円	2億1503万円	99.0
公営企業会計	簡易水道事業	1355万円	2207万円	61.4
	公共下水道事業	4億7063万円	4億9005万円	96.0

(注) 公営企業会計予算額は、減価償却費を除く。

限られた予算を有効に…

予算特別委員会

チェック Q&A

令和7年度予算審議に対し、議長を除く全議員で特別委員会（委員長 竹俣朋、副委員長 渡邊裕二）を2月28日に設置しました。第1分科会、第2分科会で4日間の審議を行い、3月13日に委員長から総括の報告を受け、本会議において全会一致で可決されました。

厚生産業 第2分科会 町民生活課・保健福祉課・産業課・農業委員会建設課

総務文教 第1分科会 総務課・防災対策課・政策推進課・美力発信課 税務課・会計課・教育委員会教育課・議会事務局

予算特別委員会

Q ごみ分別促進アプリの利用状況と導入効果は。

A アプリ利用登録者は令和7年3月4日現在で576人。ごみの分別や収集日がスマホアプリで調べられると評判もよく、さらに推奨し利用拡大に努めたい。（町民生活課）



ごみ分別促進アプリでもっと便利に

Q 猫避妊・去勢手術の補助希望者増への対応は。

A 令和6年度は30件の申込みがあった。令和7年度は、増加を見込んで、雄15頭、雌25頭の40頭分としている。（町民生活課）

Q 健康づくりとして地区栄養教室をどう進めていくか。

A 町食生活改善推進協議会に委託し、成人病予防食として減塩運動などを進め、伝達講習や栄養教室などを通じ、健康に良いレシピを町民に伝えていく。（保健福祉課）



食改では減塩食などを伝達しています

Q 成婚数を増やしていくための方策は。

A 婚活支援員による成婚数は、令和7年2月末時点で4組。「やまがたハッピーサポートセンター」への登録料金補助と合わせて進めていく。（保健福祉課）

Q 農業の担い手育成として募集する地域おこし協力隊の従事内容は。

A 作谷沢地区をモデル地区として、花卉栽培と米の営農支援を目的に募集していく。（産業課）

Q 新設された「やまのべ創業スタートアップ支援補助」の内容は。

A ソフト面（広告宣伝費、諸手続費用など）で上限50万円、ハード面（施設整備など）上限100万円を補助し、創業を支援していく。（産業課）

Q 公開型GISシステム構築と国有財産デジタル化による住民の利活用は。

A デジタル地図を通して、町ホームページで行政情報や地図情報をわかりやすく公開するサイトを構築する。公開は令和8年度を予定している。（建設課）

Q 災害対応車両（排水ポンプ車）の活用方法は。

A 新たに購入する災害時排水ポンプ車両は、毎分30トン（約30m³の水を約1分で排水）の性能を持つ。氾濫箇所に近い場所に配置していく。（建設課）

Q 普通財産となった旧大寺小学校利活用の進捗状況は。

A 用途変更などが難しく利活用が進まなかった。現在利活用については白紙となっている。（総務課）

Q 地域おこし協力隊の伴走支援業務委託とは。

A 地域おこし協力隊は山辺高校の魅力化推進業務として募集し、令和7年4月1日より1人着任する。その専属の県教育コーディネーターで、業務を一緒に行い相談などの支援を行う。（美力発信課）

Q 安達峰一郎博士の生家の屋根はどうか。

A 茅葺きか銅板、トタンにするか検討中だが、屋根だけでなく建物の側面補強の問題も出てきた。今後生家全体の在り方や維持の仕方を検討していく。（教育課）



今後は建物の耐久性も検討される生家

Q 町立学校DX化機器等購入の内容は。

A 主に電子黒板15台を導入。管理のためのPCや学習支援ソフトも購入し、教育の幅、手法を広げていく。（教育課）

Q 自主防災組織防災資器材等購入事業費補助金の内容は。

A 自主防災会が行う資器材（メガホン、投光器、救命ロープなど）の購入に補助するもの。対象経費の2分の1で上限5万円。訓練・研修を実施することが補助の条件となる。（防災対策課）



訓練を実施する防災会に助成

Q 自動起動装置改修業務委託（X・LINE連携）とは。

A 美力発信課で本格的にLINEの運用が始まる。多角的な情報発信のため、Jアラートなどの情報を同時にX、LINEに対応させる改修である。（防災対策課）

議案審議

誰ひとりとり残さない
まちづくりのために

特別会計補正予算

会計名	補正額	総額
国民健康保険特別会計	5257万円の減	13億3910万円
介護保険特別会計	1億6676万円の減	15億4766万円
後期高齢者医療特別会計	856万円の減	2億 803万円

公営企業会計補正予算

会計名	項目	補正	総額
簡易水道事業	資本的収入	15万円の減	385万円
	資本的支出	15万円の減	571万円
公共下水道事業	収益的収入	1465万円の減	3億7215万円
	収益的支出	775万円の減	3億6435万円
	資本的収入	680万円の減	1億9182万円
	資本的支出	599万円の減	3億1247万円

※各会計は事業見込みによります。

条例の一部改正

◎山辺町特別職の職員の給与に関する条例

山形県に準じて、議会の議員、町長などに対して支給する期末手当の支給割合を、年間0.1月分引上げるものです。

◎山辺町一般職の職員の給与に関する条例

人事院、山形県人事委員会の勧告を踏まえ、一般職員の給料月額額を改定するものです。

◎刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

懲役及び禁固刑が新たに拘禁刑として単一化されたことに伴い、関係条例を整理するものです。

◎山辺町児童遊園設置条例

鍛冶町児童遊園を廃止するものです。



請願第1号

請願名	加齢性難聴者の補聴器購入補助を求める請願
請願者	山辺町革新懇話会 峯田 博
趣旨	加齢性難聴者の聴力検査、検診制度の創設 補聴器購入または現物支給について、町に補助制度の創設
紹介議員	日野 一春
結果	不採択
理由	身体障害者手帳所持者には補聴器購入補助制度があり、加齢性難聴まで拡大するには財政的課題もあり慎重な対応が求められるため

請願第2号

請願名	国に対し「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書の採択、提出を求める請願
請願者	日本国民救援会 山形県本部長 脇山 拓
趣旨	再審における検察手持証拠の全面開示再審開始決定に対する検察の不服申し立て（上訴）の禁止
紹介議員	日野 一春
結果	継続審査

第1回臨時会

令和7年1月30日

2億6810万円を追加し
総額74億403万円に

主な補正内容

- 歳出
- 物価高騰対策商品券配布事業に 7246万円の増
- ふるさと応援事業（積立など）に 1億2488万円の増
- 非課税世帯等臨時特別給付金給付に 4025万円
- プレミアム付き商品券事業に 610万円

第1回臨時会のあらまし

第1回臨時会が1月30日に開催され、令和6年度一般会計補正予算（第6号）を審議し、全会一致で可決しました。

人事案件

◎最上川中部水道企業団議会議員の選挙

武田啓一郎、佐藤利和、竹俣 朋の3氏を再選

議員発議

◎山辺町議会の個人情報保護に関する条例

特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律および刑法等の一部改正により、条例を整備するものです。

◎山辺町道路占用料徴収条例
国が徴収する道路占用料の改正に伴い、町の占用料も改正するものです。

令和6年度
一般会計補正予算（第7号）
1億4268万円を減額し
総額72億6135万円に

主な補正内容
歳入歳出とも事業実績などによる減額補正
歳出
予防接種健康被害救済給付金 4442万円の増
学校施設整備基金積立金 5000万円の増

追加議案
令和6年度
一般会計補正予算（第8号）

2500万円を追加し
総額72億8635万円に

主な補正内容
歳出
除雪事業に 2500万円の増





一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



定例会のお知らせ

次回の定例会は6月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話 023-667-1117 (議会事務局)

3月の定例会では、6名の議員が一般質問を行いました。

わたなべ 裕二	重要施策	令和7年度の町長の重要施策を問う
たけまた 朋	障がい者福祉	障がい者への理解とグループホームを
えんどうま 真由美	読書活動推進	楽しい取り組みで読書タウン山辺に
ひの 一春	ハラスメント対応	各種ハラスメントの対応は行政組織内の内部通報制度の確立は
すすき 誠也	Welcomeやまのべ	大相撲山辺場所への期待
むらやま 幸一	産業振興	続く物価高騰 町は産業振興にどう取り組む

重要施策

令和7年度の町長の重要施策を問う



渡邊 裕二 (町長) 行政需要の変化に柔軟かつ弾力的に取り組んでいく

質問 安全・安心なまちづくりのためにどのように取り組むか。

答弁 昨今の気候変動による異常気象で、各地で災害が頻発している。大雨や洪水などにより甚大な被害を防ぐために国レベルの排水ポンプ車を購入する。また、避難所へのエアコン設置、道路の白線などの引き直しなどの事業に予算を織り込む。

質問 未来を担う子どもたちに今できることは。

答弁 子どもたちは、次代を担う大切な「宝」である。具体的には、町立学校のDX化や町民プール改修に向けた取り組み。そして、子どもたちに夢や希望を与えるために大相撲山辺場所を開催する。また、給食無償化や高校生までの保険診療に係る医療費助成と、新たに、保育料無償化の

質問 大幅な伸びを見せているふるさと納税寄附金を、具体的にどう生かしていくのか。

答弁 すべての子どもたちが健やかに育つよう、子育て支援の充実や、農工商などもの



令和2年7月豪雨時の救助の様子

質問 拡充のための事業を実施する。

答弁 特に重要施策として位置づけるものは。

質問 町の美力アップ推進で、マスクメディアなどを利用した情報発信や、カーボンニュートラルへ向け、今年度は町内施設の照明をLED化して電力使用量削減に取り組む。その他、活発な産業活動や「ものづくり」への支援に積極的な事業を展開する。

障がい者福祉

障がい者グループホームの設立を



竹俣 朋 (町長) 民間事業者の相談に対応し誘致推進する

質問 町内の障がい者手帳所持者数は。

答弁 身体障害者手帳(肢体・視覚・聴覚などの機能障がい)598名、療育手帳(知的障がい)113名、精神障害者保健福祉手帳(精神疾患)89名、合計800名の方が所持している。

質問 障がい者への理解を深めるために町で行っていることは。

答弁 広報誌での啓発活動(障がいの種類や状態、ヘルプマークの紹介、障がい者差別解消について)と、役場1階展示コーナーにて障がい者自立支援センター「あおぞら」の製品展示販売を行っている。

質問 「親なき後問題」の観点から、当町に知的障がい者向けのグループホームの設立が必要と思うが、

答弁 入所施設15名、グループホーム20名、合計35名。



障がい者自立支援センター「あおぞら」の利用者が作る製品

質問 障がい者向け入所施設や、グループホームの利用者数は。

その考えは。 当町での運営は非常に困難であると判断しているため、町直営で設立する考えはないが、グループホームの利用は徐々に増加している。今後山辺町社会福祉協議会や関係団体と連携しながら、研修への参加や障がいのある方々と地域住民の交流の場を設けるなど、障がいに対する理解を深めるための活動に取り組んでいく。

※親なき後問題とは、親が亡くなった後、残された障がいのある子どもの面倒を誰が見るのかという問題

読書活動推進

社会教育の力で読書タウン山辺へ



遠藤 真由美 (町長) より良い読書環境の創出に努めていく

質問 現代はスマートフォンなどの普及により活字離れが進んでいる。そこで文部科学省は乳幼児からの切れ目のない読書習慣の形成を促し、本に接するための環境整備と取り組みの推進を図るための基本方針「子ども読書活動推進計画」を示した。当町では策定されていないが予定はあるか。

答弁 令和5年度末の県内町村では90.5%の策定率となっている。読書活動の推進は教育現場においても重要なテーマであり、家庭・地域・学校・行政が一体となって取り組むべき課題と認識している。今後は学校・図書室などの声を改め

質問 推進計画の内容に照らすと、当町の図書室や読み聞かせボランティアの活動は活発であると思う。今後さらに充実するよう、町とそれぞれが連携し町をあげての図書イベントができるよう意見交換の場は作れないか。

答弁 「読み聞かせ」については現在それぞれの団体が独自に活動を行っている状況なので、各団体の声を聞き、意見交換の場ができないか検討する。

質問 県内4つの図書館に「読書通帳」が導入されている。銀行の通帳と同じ見た目、借りた本のタイトル、作者名などが印字される楽しいシステムだが、導入には多額の費用がかかる。当町独自の自分で書き込める、町民共通の「読書ノート」を作成してはどうか。

質問 読書履歴が可視化されることにより、読書量の増加や読書意欲の向上が期待される。今後検討したい。



図書ボランティアの力も活用して読書イベントを

各種ハラスメントの 対応を求める



一春 (町長) しない、させない、見逃さないを実践していく

質問 ハラスメントの直訳意味は人を困らせること嫌がらせ。①パワーハラスメントは、優越的な関係に基づき業務上必要な範囲を超えた言動により職場環境を害すること。②セクシャルハラスメントは、性的な嫌がらせをして相手の就業環境を害すること。代表的な2つを列記したが職員が相談窓口などの対応策が構築されているか。

答弁 当町は令和5年度に山辺町職員のハラスメント防止等に関する規程を制定し、ハラスメントに起因する問題に関する相談および苦情に対応する担当窓口を設置することを定めている。また山形県公平委員会に相談な

どを行うことができない。また、職員が職務上必要な範囲を超えた言動により職場環境を害すること。②セクシャルハラスメントは、性的な嫌がらせをして相手の就業環境を害すること。代表的な2つを列記したが職員が相談窓口などの対応策が構築されているか。

質問 カスタマーハラスメントは行政窓口への来訪者による常識の度を越えた言動や態度である。それから職員を守る対策が構築されているか。

答弁 窓口で住民と対応する状況で著しい迷惑行為(暴行、脅迫、ひどい暴言、著しく不当な要求など)が起り得るものと危惧している、具体的に職員を守る対応策を検討する。

質問 人事権を持つ上司などのハラスメントを告発する内部通報制度は構築されているか。



役場1階受付カウンター

答弁 内部通報制度は事務事業に関して法令違反や不当な事実を知った職員などに対し、相談や通報の義務を課すとともに、通報した職員などが通報したことを理由に人事・給与その他の勤務条件の取り扱いなどにおいて、不利益な取扱いを受けないよう保護する仕組みである。当町は制度を導入していないが、町政運営の透明性のさらなる向上と、町民の信頼の確保を高めるべく今後検討する。

大相撲山辺場所への期待



誠也 (町長) さまざまな地域波及効果に期待している

質問 山辺町初の相撲巡業開催にむけた安達町長の思いは。

答弁 関係者や、相撲協会のお力で、開催までに至った。山辺町で相撲巡業を開催して、本当に良かったと思ってもらえるように取り組んでいく。

質問 観客入場者数2200人、力士、行司など約200人、駐車場、送迎の問題、交通、インフラ整備の安全対策は。

答弁 町と実行委員会が協議し、ボランティアの皆さんと連携してトラブルが起きないようにしていく。

質問 Welcomeやまのべ、開催機運を盛り上げる手立ては。

答弁 山辺町の魅力に多く触れてもらえるよう、PRしていく。地域振興の活性化や、交流人口の拡大が図ればと期待している。

質問 会場に入れない相撲ファンへの配慮は。

答弁 相撲協会と実行委員会が協議していく。

質問 町民への入場券、チケットの優先販売の配慮は。



どうぞい、相撲巡業

答弁 昨年の尾花沢場所を参考にしている。

質問 地元子どもたちに向けた相撲体験、町のスポーツ振興にどう生かせるか。

答弁 地元子どもたちにとっても、大変貴重な経験であると感じる。相撲に親しむ機会が高まるなど、スポーツ振興につながる可能性があると考えられる。

続く物価高騰 町は産業振興にどう取り組む



幸一 (町長) 物価高騰下の諸課題に適切に対応していく

質問 物価高騰が続き、地域間競争も激しいなか、町は産業振興にどう取り組むか、進めようとしているか。

答弁 令和4年度より町商工会が実施する「やまのべ未来創生事業」に助成し、今年度は新たなビジネスモデルの創出をテーマとするセミナーが開催された。また、町中小企業振興資金融資制度の活用や信用保証制度も時勢にあわせ順次拡大してきた。

また、消費喚起を促すため「プレミアム商品券」を発行し、物価高騰で影響を受けている町内事業者や商店などの下支えをしている。

質問 事業所の収益アップにつながる施策は。

答弁 令和7年度に「高品質なものづくり促進支援補助事業」として、新製品・新技術の開発支援や製品化を支援していく。

質問 農業資材などの物価高騰により、農業経営の厳しさが増しているのではないかと。町の対策は。

答弁 米価格が大幅に上昇し、米生産者の所得は向上しているが、町の特産品であるさくらんぼ生産者は昨年の高温被害により、大幅な減収となり、52経営体



高品質なものづくりをめざして 緞通とニットのコラボ ~春の工房祭にて~

に10a当たり4万円の次期作支援をした。

質問 農業従事者の高齢化が進み、農業継承が課題だ。農業の担い手をどう確保していくか。

答弁 昨年は深刻な人手不足解消の一助として、就業支援トライアル事業を実施し、企業の方々から無償の農作業支援を受け入れた。そのほか既存の新規就農者支援対策と併せ、作谷沢地区をモデルケースとして地域おこし協力隊の活用を検討していく。

議員が定例会で行った一般質問が、どうまちづくりに反映されたか、これまでの質問の一部を取り上げました。

農業収入保険の補助で 加入増!



どうなったべ あの質問



農業経営収入保険制度に対する町の保険料助成で加入増加に

令和5年12月の一般質問「近年多発する自然災害における農業者への支援策は」(※)の中で、「山辺のおいしい農作物を作り続けていただくためにも、できるだけ支援をお願いしたい」「4年度のみだった収入保険に対する補助の今後は」という質問に対し、「ニーズを聞きながら検討していく」という回答で、6年度の補助が決定し、加入者の増加につながりました。また、全国農業共済組合連合会(NOSAI)さんより山辺町へ加入促進に対する感謝状が贈られました。今後山辺のおいしい農産物を全国に展開していただけるよう、町とともに応援してまいります。

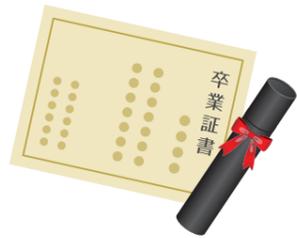
※質問内容については、「やまのべ議会だより」(令和6年1月29日発行No.123)6ページをご覧ください。

新しい町への挑戦

町の財産を生かし、
うるおうまちづくり

町内の卒業式に参列しました

令和7年3月、町内小中学校の卒業式に参列しました。学び舎での思い出を胸に、あらたな旅立ちへ心躍らせる凛々しい姿が印象的でした。議員一同、生徒さんたちに心からのエールを送ります。



私たち議員は議場や会議室で議論を交わすことが多いですが、時には外へと飛び出して行政視察や外部での研修を行ったり、各団体や地域の皆さんとの交流を図ったりします。令和7年1月から3月までの議会活動の一部を報告します。ぜひご覧ください。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は、学校給食の現地調査として厚生産業常任委員会にも参加を呼びかけ、1月28日、山辺町学校給食センターと山辺小学校を訪問しました。給食センターでは、調理現場を見学し、栄養士から限られた予算の中で、地元食材を優先に、安全・安心に、また栄養のバランスに細心の注意を払いながら、一日1100食を提供していることなど説明を受けました。山辺小学校では、実際に子どもたちの配膳、盛り付け作業など給食風景を見学し、ともに会食しながら食の大切さを学ぶことができました。これからの議員活動に活かしていきたいと思えます。



衛生管理が行き届いているね

どうやって配膳しているのかな？

さまざまなイベントにも参加しています

山辺町新年祝賀会
1月5日



山辺町消防出初式
1月12日



ふるさと資料館 ひな人形展内覧会
2月19日



ソロプチミスト チャリティ茶会
3月23日



近隣市町のイベント情報

イベント	期日	場所	内容	問合せ
山形市 山形紅花まつり	7月5日(土)～6日(日)	高瀬紅花ふれあいセンター	紅花のプレゼントや紅花販売・切花・摘花体験(有料)などを実施します。写真撮影会や伝統芸能の披露ほか、木工品等の売店も出店されます。	山形紅花まつり実行委員会(高瀬紅花ふれあいセンター内) Tel.023-686-3341
上山市 スマイルプロジェクト☆かみのやま	7月26日(土)	三友エンジニア体育文化センター 市民総合運動広場	みんなに夢と笑顔を与えるイベント。夜中に開く大輪の花火が夏を盛り上げます。	公益社団法人 上山青年会議所 Tel.023-672-7721
中山町 2025 柏倉九左衛門家紅花まつり	6月28日(土)・29日(日)	重要文化財旧柏倉家住宅、旧柏倉惣右衛門家住宅、柏倉喜作家、柏倉清右衛門家	重要文化財 旧柏倉家住宅前に咲く紅花鑑賞、柏倉一族の屋敷群を会場にした企画展示や行事など。【午前10時～午後4時まで(最終入場 午後3時30分)】	2025柏倉九左衛門家紅花まつり実行委員会 事務局 Tel.023-662-2175
中山町 第32回 全国かぶと虫相撲大会	7月21日(月・海の日)	中山町総合体育館	本戦、ひまわり土俵、木登りレース、がんばる車大集合など。	中山町観光協会 Tel.023-662-2114
山辺町 昭和100年展	7月5日(土)～8月31日(日)	山辺町ふるさと資料館	令和7年がちょうど昭和100年にあたることから開催する昭和100年展。昭和の小物や生活用品、資料などを多数展示予定です。	山辺町ふるさと資料館 Tel.023-664-5033

おじゃまします！

出前議会

まちづくりについて
地域のあんなことこんなこと
議員と話してみませんか

アイデアやご意見をお聞かせください。
地域の集まり、子ども育成会、会社、各種団体など、少ない人数でもOKです。
土日、夜でも大丈夫。
ご指定いただいた会場に、こちらから伺います。
お申し込みは、お近くの議員まで気軽に申し付けください。

第15回 議会報告会開催のお知らせ

未来を話す会

日時：7月25日(金) 10時
会場：山辺町役場3階議場

テーマ
「ずっと暮らしたいまちにするためには」

まちづくりは、ちょっとしたアイデアから生まれます！
実際に議会を行う議場で、あなたの思いを気軽に話してみませんか
議会の雰囲気味わいながら、山辺町の未来を語り合しましょう